

2015年度 長崎大学生がおすすめする

音さるくコース

～長崎の音風景を訪ねて～



長崎大学 グラウンド

Copyright ©2016 Osamu Nishida All rights reserved.

目次

はじめに	2
長崎は今日も異国だった～港がみえる坂から大浦天主堂へ～	3
みなと長崎潮風散歩～出島ワープから長崎水辺の森公園～	5
長崎のチャイナタウン～唐人屋敷から新地へ～	7
長崎三社参り～諏訪神社・松森天満宮から伊勢宮～	9
アンゼラスの鐘の丘を訪ねて～原爆落下中心地・平和公園から浦上天主堂～	11
被爆校舎で耳をすませば～原爆落下中心地から城山小学校へ～	13
文京キャンパスコース	15
坂本キャンパスコース	17
おわりに	19

はじめに

目で見える風景に対して、耳で聞く風景が「音風景（サウンドスケープ）」です。通り慣れた道でも音風景を意識して歩いてみると意外な発見に驚くことがあります。

そんな音風景に耳をすませながら散歩（音さるく）してほしいコースをここに8つ紹介します。はじめの6つは、長崎国際観光コンベンション協会による「長崎さるく」のコース上に「ここで耳をすませてみてほしい」というポイントを設定したものです。目で見える風景や歴史からだけでなく、耳からも長崎を感じ取っていただけたら幸いです。

最後の2つは、長崎大学生が日常を送るキャンパス内の音さるくコースです。長崎大学に通う学生たちだからこそ紹介することのできるポイントとコースをご紹介します。

この冊子は、観光で長崎を訪れた方にはもちろん、長崎で生活している皆さんにも足を止めて、あるいは歩きながら耳をすませてみてほしいポイントを紹介したく、長崎大学の学生たちが選んだものです。話すことをやめ、考え事をやめて、ときにはただ音の風景に耳を傾けるというのはいかががでしょうか。

長崎は今日も異国だった～港がみえる坂から大浦天主堂へ～

土井加奈子 中村愛子 長谷山勇輝 三島白百合



○長崎さるく HP リンク : <http://www.saruku.info/course/Y138.html>

○紹介動画リンク : <https://youtu.be/FNC088gV4rU>



① スカイロード横の318段の元気坂

車道から離れていくにつれて車の音が遠くなっていきます。石の階段をふむ、コツコツという足音、砂利道を歩くジャリジャリという音、荒くなってくる自分の呼吸音が大きく聞こえます。それらとは対照的に、周囲の音はどんどん静かになり、頂上が近づいてくると、鳥の鳴き声が響きわたり船のポーという汽笛も聞こえます。スカイロードもいいですが、音を楽しむには階段をのぼるのがおすすめです。



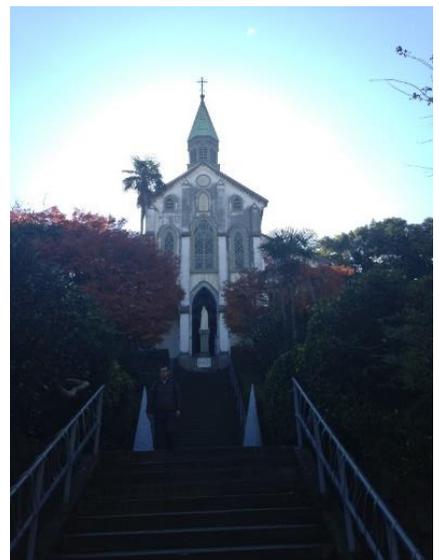
② 祈りの三角ゾーン

祈念坂を下って天主堂のそばを通り過ぎると、左手に大浦諏訪神社、右手に妙行寺、その中央に大浦天主堂という祈りの三角ゾーンに到着します。ここでは、神社の鈴を鳴らしている音、階段をのぼる参拝者が落ち葉を踏む音、大浦天主堂へと歩いていく観光客の話し声が聞こえます。自然の音が聞こえ、心が安らぎます。お寺や教会を目にしながら、神社の鈴の音を聞く経験ができる数少ない場所です。



③ 大浦天主堂

閑静な祈りの三角ゾーンを抜け大浦天主堂の前に出ると、さほど距離はないのですが、お土産店が並び観光客の話し声が聞こえて、先ほどとは一変して賑やかになります。大浦天主堂では朝6時、昼12時、夕方18時の3回鐘が鳴ります。ずっと昔から人々に時を知らせているこの鐘の音からは、この教会の力強さが感じられます。教会の中で聞くと外で聴くよりも響きが大きく聞けるのでオススメです。



① 長崎港ターミナル

長崎港ターミナルの最奥まで足を運ぶと、突然閑静な場所に出ます。少し強い海風を肌で感じながら耳をすませてみると、長崎港に到着した乗客の声やこれから出港する人の声、普段では気に留めない波の音、風の音を聞くことができます。ちょうど船が出港するタイミングに行くと、ボォーとまるで心臓に響くような汽笛の音が飛んできます。



② 出島ワーフ

出島ワーフは数多くある長崎の観光地のなかの一つですが、ここでは昼と夜で聞こえる音が違います。昼は人が少なく静かで、聞こえてくるのは、少し離れた道路を走る車の音やお店のBGMなどです。それに比べ、夜は人が多く賑やかで、飲み会帰りの楽しそうな話し声や、食事をしている人々の笑い声などを聞くことができます。



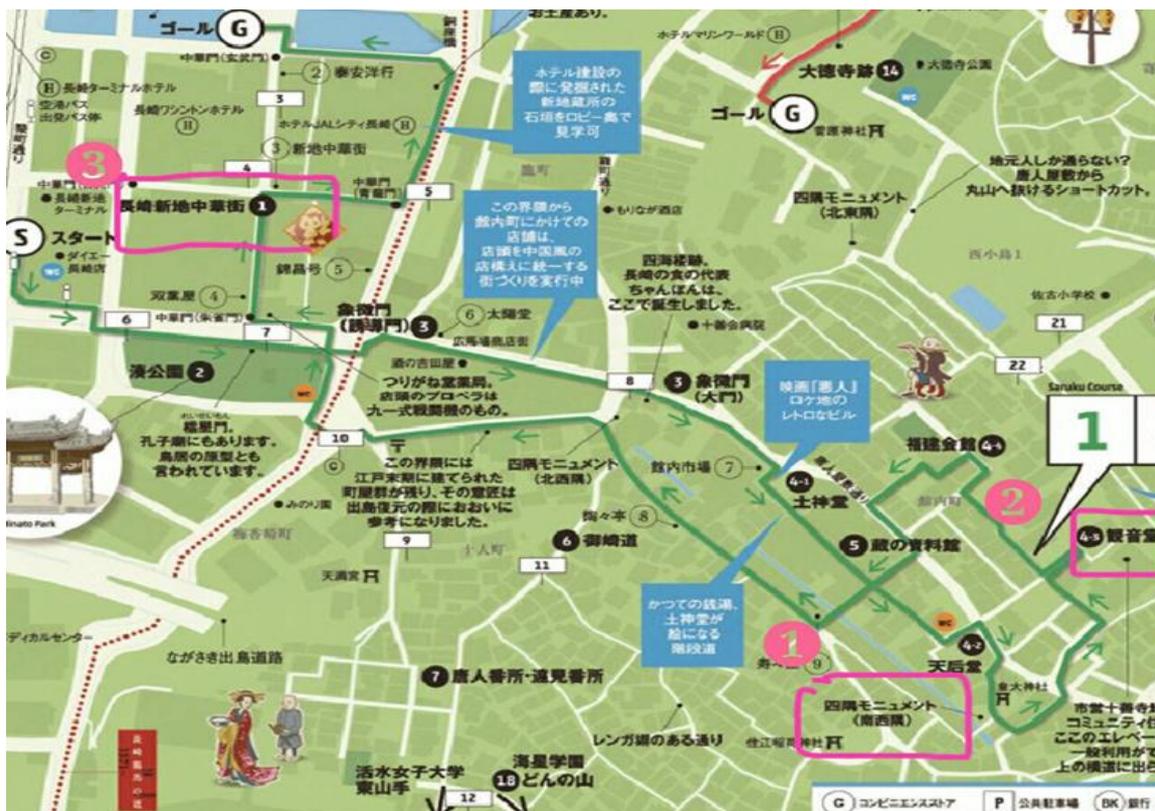
③ 水辺の森公園

広大な水辺の森公園は、たくさんの音で溢れています。海辺では打ち寄せる波や少し強い風の音が耳に入ってきます。林の中では、木々の葉がこすれあう音、鳥のさえずりなどが聞こえ、中央の広場では遊んでいる子どもの楽しそうな声もします。水辺の森公園は場所によって音風景が変化するのが特徴です。多彩な音風景の中で自分のお気に入りを探してみてもいいでしょう。



長崎のチャイナタウン～唐人屋敷から新地へ～

岩本寿美 陣野菜 木住野美緒 槇駿太



○長崎さるく HP リンク : <http://www.saruku.info/course/Y140.html>

○紹介動画リンク : <https://youtu.be/oyMzrCeihkY>



① 四隅（しすみ）モニュメント(南西隅)

坂道の途中に住宅街が並ぶ中、ひっそりとたたずむ四隅モニュメント。そばには小さな橋とその下を流れていく水路があります。たくさんの緑に囲まれており、小鳥のさえずりが聞こえてくることもあります。しばらく足をとどめて耳をすませてみてください。自分の心を落ち着かせてくれるような、ほっと一息つくことができるような場所です。



② 観音堂

四隅モニュメントからの長い坂の先に観音堂があります。到着した頃には心臓の音が大きく聞こえるでしょう。隣の幼稚園で遊ぶ子どもたちの声も聞こえてきます。2月のランタンフェスティバルの時期になると、ロウソク祈願四堂巡り（きがんしどうめぐり）のスポットでもあり、たくさん集まったロウソクの燃える音がこの音風景の主人公となります。観音堂は時期によって違った顔を見せてくれることでしょう。



③ 長崎新地中華街

どっしりと構える華やかな赤い門の下を通り抜けると、観光客の話し声や売り子さんの元気な声であふれています。売り子さんの声に誘われてお店に近寄ってみると、角煮まんを蒸す音も聞こえてきます。そして、この中華街で流れている音楽が異国情緒あふれる雰囲気を作りあげており、他の長崎の街並みとは違った空間を楽しむことができる場所です。



長崎三社参り～諏訪神社・松森天満宮から伊勢宮～

竹下いづみ 長谷川侑美 前田夢来 大原直人 田川海耕



○長崎さるく HP リンク : <http://www.saruku.info/course/Y169.html>

○紹介動画リンク : <https://youtu.be/H-AF7IbYtUw>



①桃溪(ももたに)橋(ばし)

橋の上に立つと静かに水の流れる音がし、鳥のさえずりが聞こえてきます。遠くから小道を歩いて聞こえてくるのは路面電車の音、車の音、人の足音。周りには風情ある民家と現代的なマンションがあります。音だけを聞くと、自然の中にいることを感じますが、一方で景色だけを見ると、何気ない長崎の街があります。その対照的なものが共存することで、自然と私たちの生活の調和を感じさせてくれる場所です。



②松森天満宮

住宅地の中にひっそりとたたずむ門をくぐるとそこに辿り着きます。手水舎(ちょうずしゃ)からは水の流れる音が聞こえます。賽銭箱の底に小銭が当たって音を立てます。神社の低い鈴の音。二度拍手して静かに礼をします。参拝が終わるといったん静寂が訪れますが、時々、鶏の鳴き声も聞こえてきます。ここは住宅街の中に位置していますが、一步踏み入るとまるで森の奥に来たような、どこか心が洗われるような気持ちにさせてくれます。



③諏訪神社

有名な諏訪神社も、平日の昼間となると人はほとんどいません。境内には石段を登る音、砂利を踏む音、話す音が入り混じり、参拝者が鐘をならす音が厳かに響きます。結婚式が行われることもあり、運が良ければその幸せな音も聞けるかもしれません。私たちが訪れた12月の諏訪神社は新年のために静かに準備をしているような、そんな雰囲気でした。



アンゼラスの鐘の丘を訪ねて～原爆落下中心地・平和公園から浦上天主堂～

鴨川拳 松林龍之介 徳丸綾香 大友礼



○長崎さるく HP リンク : <http://www.saruku.info/course/Y155.html>

○紹介動画リンク : https://youtu.be/saiQG1kB_a8



①原爆落下中心地碑

長崎のグラウンド・ゼロ。木々や小川があり自然の音が感じられます。国道沿いにあり車が走る音が絶えず聴こえてきますが、意識を集中させるとそこだけ時間が止まっているかのようにしーんとします。そのコントラストが荘厳な雰囲気を生み出しています。当時に思いを馳せることで過去と現在を行き来できるかもしれません。



②平和公園

正面のエスカレーターを昇ると、目の前には噴水が立ち上がり、その噴水の向こうに見えるのは、教科書にもよくでてくる有名な祈りの像です。耳を澄ますと、噴水の奏でる音、たくさんの観光客が話す声、遠くで飛行機が飛ぶ音、様々な音が聴こえてきます。普段何気なく聞いている音も、この場所で聴くと普段とは違った表情を見せてくれます。



③市立山里小学校（山里国民学校跡）

レンガ造りの校舎は存在感があります。趣のある綺麗な校舎からは子どもたちが教科書を音読する声や歌を唄う声が、周囲の木々からは鳥のさえずる声が聴こえてきます。70年前ここで戦争が行われていたなんて想像できません。普通の小学校の音風景ですが、ここでは子どもたちの元気な声を聴くことによって平和の尊さをより強く感じることができます。



被爆校舎で耳をすませば～原爆落下中心地から城山小学校へ～

庄山創 永岡祐典 緒方遙香 赤羽江愛美 高原杏菜



○長崎さるく HP リンク : <http://www.saruku.info/course/Y156.html>

○紹介動画リンク : <https://youtu.be/AgxGciaBHYw>



① 原爆落下中心地公園

②

この公園は本通りすぐそばにあります。しかし、なぜか騒音は気にならず、ゆったりとした音を聞くことができる不思議な空間です。外の騒がしい音から公園内に入って行くと、人々の笑い声や鳥のさえずり、葉のこすれる音といった心安らぐ音が聞こえます。変化の大きな公園内外の音を比較しながら、日常から離れた平穏を感じに行ってみてはどうでしょうか。公園の中にあるベンチに腰掛けて、ゆったりとした時間を過ごすのもオススメです！



③ 松山電停

④

長崎ならではの音として、路面電車が挙げられますが、中でもこの松山電停が私は好きです。この電停はトンネルの隣にあるため、路面電車とレールが奏でるガタンゴトンという音が反響し、普段よりもすごい迫力で電車が走る音を聞くことができます。ゆったりとした路面電車の音を楽しむのもいいですが、目の前を走りぬける電車によって、他のすべての音がかき消される爽快な気分を味わってみるのもいかがでしょうか？



⑤ 築橋(やなはし)

⑥

この橋は特に観光名所というわけでもなく、普段は注目されることのない橋ですが、一度立ち止まってみると、騒がしい日常を背にしながらゆったりと音を聞くことができる穴場だということに気が付きます。風に揺れる葉っぱの音、散歩している人の足音、登下校中の学生の話し声、車の走る音などかなり日常的な音ばかりですが、改めて聞いてみると今まで気がつかなかった新たな発見があるかもしれません。ぜひ試してみてください！



文京キャンパスコース

山本幸近 甲斐彩奈 富永友菜 常光悠司 森田皓介



○紹介動画リンク : <https://youtu.be/hC9oSTmJ0IM>



① 核兵器廃絶研究センター前のベンチ

ここは人通りが少ない通りにあるベンチです。日中、人が多い長崎大学の中で、数少ない落ち着ける場所です。ベンチに座ると気持ちよく日が当たり、日向ぼっこをすることができます。日向ぼっこをしながら、まわりの音を聴くと、日向ぼっこをしに来た猫の落ち葉を踏む音や羽根を休みにきた鳥のチュンチュンといった鳴き声、落ち葉が風を舞うカサカサとした音が聞こえてきます。一人で考え事をする際に、おすすめのスポットです。



② 運動場

運動場は常にといいわけではないですが、基本的に誰かがサッカーや野球をしています。運動場から聞こえる音は、サッカーボールを蹴る音、ボールがバットに当たる音、選手同士で掛け合う声など、アクティブな音が主です。そのような音は、聞いているだけでスポーツで味わえる爽快感を感じさせてくれます。リフレッシュしたい際に、訪れてはいかがでしょうか？



③ 長崎大学図書館前

長崎大学の図書館前は人通りが多い場所です。授業中や授業後では、聞こえてくる人の足音の数が異なり、まるで強弱がある音楽を聴いているようです。また、図書館前には木々が立ち並んでいます。それゆえ、足音だけでなく、サラサラとした葉っぱがゆれる音も聞こえてきます。自然の音と人の足音が一つの音楽を作り出す場所です。図書館を利用した際は、図書館前のベンチで耳を傾けてみてはどうでしょうか？



坂本キャンパスコース

稲葉莉子 大西敦斗 鹿田葵 白川仁美 前田梨花



【地図1】保健学科（① → ②）



【地図2】保健学科→医学科（② → A）



【地図3】医学科（A → ③）

◎地図1は保健学科内の場所①から②への道を示しています。

◎地図2は保健学科の場所②から医学科の地点Aへの道を示しています。

◎地図3は医学科の地点Aから体育館横と食堂へ寄り道してから場所③へ行く道を示しています。



◎紹介動画リンク: <https://youtu.be/Vnzcq4LaBU>

①保健学科 外エレベーター付近

保健学科の駐車場からエレベーターへ向かっていくと、この小道があります。ここは自然に囲まれていてとても穏やかな気分になれます。風が吹くと、木がざわざわと揺れ、葉っぱ同士がかさかさとしずれあう音が聴こえます。天気の良い日にはピピピッと小鳥の可愛らしい鳴き声が聴こえてきます。考え事をしたい時、気分転換をしたい時におすすめの場所です。



②保健学科の坂

この場所は保健学科に行く際に誰もが息を荒げながら通る坂です。時間帯によって聴こえてくる音が異なります。朝や昼には近くの小学校から元気な子ども達の声が聴こえ、夕方になると子ども達の声は消え、家路をいそぐ教員たちの車の音や1日の授業を終えて帰宅しようとする保健学科の学生の声がたくさん聴こえます。しばらくの間その音に耳を傾けると、また1日が終わるのかと感慨深い気持ちになります。



③グビロヶ丘

グビロヶ丘に向かって階段を上っている間に聞こえるのは、ドングリや落ち葉を踏みしめる音や木々の風にそよぐ音です。グビロヶ丘に到着すると、空気がとても澄んだきれいな空気に変化したことを感じられます。ここで聞こえてくるのは小鳥のさえずりと風にそよぐ木の葉の音だけです。この場所には原爆の被害にあった医科大学の先生や生徒が眠っています。ここを訪れて過去に思いを馳せてみるのはいかがでしょうか。



おわりに

本冊子は、長崎大学の教養教育科目「ことばと文化とコミュニケーションⅡ(音楽と表現)」の2015年度 受講生約40名で制作したものです。長崎大学の学生たちと「音風景」をテーマとした冊子作りは、本作で第3巻となります。第1巻、第2巻のタイトルおよび冊子公開のURLは、以下のとおりです。

「2013年 長大生が選ぶ“残したい長崎の音風景16選”」

http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/34232/1/2013_oto16sen.pdf

「2014年 長大生が選ぶ“残したい長崎の音風景17選”」

http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/35020/1/2014_oto17sen.pdf

そのタイトルが示すように、第1、2巻と第3巻は、趣が異なります。前者が、「残していきたい」という保全の方向を強く意識した取組みであるのに対し、後者は気軽に訪れてもらえるガイドブックという趣向を持ちます。これは、今年度の受講生たちが「より気軽に長崎の音風景を感じて欲しい」と願っての方向転換でした。

受講生のアイディアにより、「長崎さるく」のコースに耳をすます「音さるく」スポットを設定することに決まり、また、訪れてもらいやすいように文章だけではなく、短い紹介動画と地図を加えることとなりました。そして、既存の「長崎さるく」だけではなく、長崎大学に通う自分たちだからこそ紹介することのできるものとして、長崎大学内の音さるくコースもつくることに決め、選定作業を進めました。

私のファシリテーションが未熟であるが故、限られた講義回数の中で、方向転換をし本冊子を制作することは困難を伴うものでしたが、受講生のアイディアと積極的な参加によって本冊子が完成し、動画とともに公開できることを心から嬉しく思います。

本冊子をご覧頂いた方々が、「ちょっと行ってみようかな」とそれぞれのコースを気軽に訪れて頂けたなら、製作者一同、心から嬉しく思います。また、訪れて頂く際には、リンク先にあります「長崎さるく」の解説もぜひご参照ください。歩く楽しみが増すことと存じます。

最後になりますが、本冊子の作成と公開にあたり、長崎国際観光コンベンション協会 さるく推進部マネージャー 的野寛様には、的確なご助言と資料提供などのご協力を賜りました。ここに記して心から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

2016/3/1

長崎大学 教育学部 准教授 西田治

2015年度 長崎大学生がおすすめする
音さるくコース
～長崎の音風景を訪ねて～

編集・発行者 長崎大学教育学部 西田治 研究室
発行年 2016年3月1日

※「長崎さるく」のルート情報および地図の使用については、長崎国際
観光コンベンション協会の許可を得て掲載しています。
ご意見などは、以下のメールアドレスまでお願いいたします。

osamu-n@nagasaki-u.ac.jp